

## ステラジャム 2023

9月9日、第13回国際ジャズオーケストラフェスティバル～ステラジャム～（河口湖ステラシアター）に中高生バンド Super Blue Birds が出場し、団体としては Music Selection Sprout Award を、個人としては山口千弦（Trp）、穂田美咲（Pf）の2名が CJC 賞を受賞しました。



今年も大学生ジュニアの部と一緒にだったため、団員たちは声援の大きさや、数多くの名演奏を目の当たりにし、たくさんの刺激を受けました。そして、ジャズを続けてくれている大学1～2年生の卒団生達や、5月に交流コンサートをした名古屋フリーヒルズさんを応援したり、応援されたりしながら、一緒に楽しく盛り上がりました。

2日目の10日は、富士急ハイランドのリサとガスパール・タウンで演奏しました。本番までの時間、団員たちはアトラクションなどを思い思いに楽しみました。本番は、中学生中心の若さ溢れる演奏を会場に響かせました。



## 大山サマージャズに出演！

9月16日は第19回大山サマージャズ & ラテンフレンドシップコンサート（大山阿夫利神社）に小学生バンド・ブルーバースが参加し、フレッシュなジャズを6曲演奏しました。団員たちはだいぶ本番に慣れたようで、リラックス・ムードの楽しいステージとなりました。演奏後は、クレープやフランクフルト、焼き鳥など、思い思いの食べ物や飲み物を手に、他のバンドの演奏を楽しんでいました。



## スチューデントジャズステージ in GINZA



9月30日には、ハママツジャズウィーク&日本スチューデントジャズ教育協会のコラボ企画として、ヤマハ銀座店の1Fイベントスペースにて、団員有志8名が守屋純子さん、納浩一さん、高橋徹さんとセッションをさせていただきました。

本番に先立って、3団体を対象としたクリニックが行われました。「その曲が最初に発表された時の演奏を注意深く聴いておくべき」「コンボはビッグバンドよりも管楽器の責任が大きいから、マインドを切り替えよう」「楽器の練習よりも、譜面よりも先に、自分の耳で聴いて、自分の目で見て、こういう人になりたい、という気持ちを持つことが大事」などのお言葉をいただきました。本番で団員たちは、ここで学んだことを活かしながら、プロの皆さんと銀座の中央通りをバックに演奏し、いつもと違う空気感をのびのびと楽しんでいました。



そして、一昨年までバリトンを吹いていた卒団生が、4F管楽器売り場でリペアマンとして働いているところに、皆で会いに行きました。小6の時も、高3の時も「将来の夢は楽器のリペアマンです」と言っていた彼が、ここで夢を叶えていました！



### 会員数の状況（9月現在）

ブルーバース	25名
スーパーブルーバース	42名（2名休団中）
育成会員	56名
技術委員	5名
賛助会員	34名